

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ  
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

線維性過敏性肺炎の高精細CT所見の検討：後ろ向き研究

1. 対象となる患者さん

2006年01月～2024年12月の間に当院で間質性肺炎の治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 放射線診断・IVR学講座 山田 彩

3. 研究の目的と意義

過敏性肺炎とは、吸い込んだ抗原(カビや鳥)により生じる間質性肺炎の一種です。慢性的に抗原を吸い込むと、肺の線維化が起こり、肺が縮み固くなっていき、線維性過敏性肺炎と呼ばれます。胸部CTではこの線維性過敏性肺炎と特発性肺線維症という原因のわからない間質性肺炎との区別が難しいことがあります。

過敏性肺炎と特発性肺線維症は治療方法が異なるため、この二つの疾患を区別するために有用なCT所見を評価することを目的としています。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、線維性過敏性肺炎もしくは特発性肺線維症と診断された患者さんの胸部CT所見を評価して、それぞれの違いを検討します。

5. 使用する情報

診療情報：診断名・年齢・性別・既往歴、血液検査結果、CT画像、手術で採取した肺組織の病理診断結果

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

## 7. 研究の実施体制

この研究は、他の機関と共同して実施します。実施体制は以下のとおりです。

### 研究代表者

天理よろづ相談所病院 放射線部 久保 武

### 当院の研究責任者

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR学講座 山田 彩

## 8. 外部機関への情報等の提供

この研究で使用する情報を上記の共同研究機関で共有して研究を行います。共有する際は、患者さんのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

提供方法：直接手渡し、もしくは電子的配信

## 9. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2026年12月31日

## 10. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

## 11. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 放射線診断・IVR学講座 山田 彩

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：k117668@naramed-u.ac.jp